

2023（令和5）年度 自己点検・評価報告書

学校法人ザイナスアカデミー

田北調理師専門学校

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、田北調理師専門学校の2023（令和5）年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

作成日 令和6年5月7日

校長 弓田 桂三

自己点検・評価責任者

副校長 實崎 裕美

（目次）

I 教育理念・教育目標（育成人材像）	P1
II 重点項目	P1
III 基準項目・自己点検	
基準（1） 教育理念・目的	P2
基準（2） 学校運営	P2
基準（3） 教育活動	P3
基準（4） 学修成果	P4
基準（5） 学生支援	P4
基準（6） 教育環境	P5
基準（7） 学生募集	P5
基準（8） 財務	P5
基準（9） 法令遵守	P6
基準（10） 社会貢献・地域貢献	P6
基準（11） 国際交流	P6

（評価結果）

- 4：達成度が極めて高い
- 3：ほぼ達成している
- 2：達成がやや不十分であり、若干改善を要する
- 1：達成は不十分で改善を要する（不適合）

I 教育理念・教育目標（育成人材像）

【教育理念】

自立貢献 夢に向かって最善を尽くし、社会に貢献できる自立した人材の育成

【教育目標】

- ・食の即戦力となる力を身につける
- ・行動の教育（自分で考え、表現し、判断して実社会で役立つ能力・習慣を身につける）

II 重点項目

【重点項目】

- ・行動は心を変える、行動の教育。No チャイム制。
- ・接遇とマナー指導の充実。

【取組み状況ならびに成果と課題】

- ・現代の学生の特性として受け身の学生や、物事について頭の中で考えるだけで、行動に移すことなくそこで足踏みをしてしまう学生が多く見受けられる。そこではNo チャイム制を導入した。そのことで、自分で時間を意識し、何をすべきか自分で考え行動できる学生が増えたかというと、まだ十分とは言えない。しかし、学校がなぜNo チャイム制を導入しているかという意図については、機会をとらえて学生に説明し、理解を求めている。
- ・卒業後社会に出る時に、調理師としての基礎は身についていても、それが即社会で通用するかといえば、難しいのが現状である。社会人としての挨拶や返事は、社会生活を円滑にするには欠かせない。まずはどこに出ても恥ずかしくないよう、毎月接遇とマナーの目標を設定した上で、指導を日常的に行っており、身につきつつあるところである。

III 基準項目について

基準（1）教育理念・目標

評価項目	学校自己評価結果
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想は抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

【課題と今後の改善方策等】

- ・学校の理念・目標は明確であるが、教育目標や育成人材像への業界のニーズの把握を積極的に進める必要性がある。
- ・飲食業種との情報交換の機会を増やし、業界のニーズの把握に努め、それを教育目標や育成人材像に反映させていく。

【特記事項】

- ・なし

基準（2）学校運営

評価項目	学校自己評価結果
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【課題と今後の改善方策等】

- ・業務内容の効率化の必要性を感じている。
- ・健全な学校運営にはさらなる情報の共有と広報活動を積極的に実施する必要性があり、今年度は体制を見直し、全教職員がそれぞれの立場でできることを実施する予定。

【特記事項】

- ・なし

基準（3）教育活動

評価項目	学校自己評価結果
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

【課題と今後の改善方策等】

- ・授業評価は研究授業という形で実施しているが、評価体制は明確でない。
- ・また、教員の質の向上のための研修の機会がこれまで少なかった。今年度は9回の職員研修を計画し、実施予定。

【特記事項】

- ・なし

基準(4). 学修成果

評価項目	学校自己評価結果
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

【課題と今後の改善方策等】

- ・就職を希望する学生については、100%就職している。
- ・調理師資格は卒業者全員が取得しているが、それ以外の資格取得者は横ばい傾向である。
- ・退学者は例年一定数いる。退学者の退学理由は体調不良のことが多いが、目標が明確でないことから、学業の継続が困難になることも多い。欠席がちな学生が退学することが多いので、指導方法の見直しをする必要性もあるが、指導方法を変えても一定数の退学者はでることが予想される。
- ・近年後援会という組織を作り、卒業後も学校とのつながりを持つもらっているが、ごく一部しか社会的な活躍及び評価は把握できていない現状があるので、今後は後援会を活発化していく必要がある。
- ・卒業生には、その就職先の企業説明会時に同行してもらうことも多く、学生の就職活動に活用している。

【特記事項】

- ・なし

基準（5）学生支援

評価項目	学校自己評価結果
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
・学生の生活環境への支援は行われているか	2
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

【課題と今後の改善方策等】

- ・課外活動と学生の生活環境の支援については、支援に対するニーズ把握が難しい。学生自らが支援を求めてくれば、支援は可能なので、相談しやすい環境づくりを継続して行う。

【特記事項】

- ・なし

基準(6). 教育環境

評価項目	学校自己評価結果
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
・学内外の実習施設、インターンシップ、について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	3

【課題と今後の改善方策等】

- ・施設の老朽化、防災体制に課題がある。
- ・学外での実習は履修科目に含まれており、また、随時学生から希望があれば各企業様に実習受け入れの申し入れをして、体制を整えている。

【特記事項】

- ・なし

基準(7). 学生募集

評価項目	学校自己評価結果
・学生募集活動は、適切に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

【課題と今後の改善方策等】

- ・社会の少子化現象に伴って18才人口（高校新卒者）の激減の今日、募集計画、方法については日々改善をしながら実施している。
- ・現代社会のニーズに応えるべく、「職業実践専門課程」を充実させ、効果的な広報につなげている。

【特記事項】

- ・なし

基準(8). 財務

評価項目	学校自己評価結果
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適切に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

【課題と今後の改善方策等】

- ・今後も予算決算管理及び昨年度対比による財務分析等の取り組みを継続的に行っていく。
- ・予算編成に関しては、過年度実績と次年度計画に基づき編成している。収入と支出のバランス、また、貸借対照表からも財務基盤は安定しており、学生に必要かつ快適な教育環境を提供できる財務体質を備えている。監査は、私立学校法及び寄付行為に基づき、監事による監査が適切に行われている。

【特記事項】

- ・なし

基準(9). 法令遵守

評価項目	学校自己評価結果
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
・自己評価結果を公開しているか	4

【課題と今後の改善方策等】

- ・私立専修学校設置認可審査基準を遵守している。
- ・自己評価の実施が不十分である
- ・教職員に法令遵守に関する研修への参加を促す。また、個人情報保護規程の取り扱いについて、教職員会議の場などで定期的な発信と共有に継続して取り組む

【特記事項】

- ・なし

基準(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	学校自己評価結果
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

【課題と今後の改善方策等】

- ・特に問題ない、適切に計画実施されている。

【特記事項】

- ・なし

基準(11). 国際交流

評価項目	学校自己評価結果
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

【課題と今後の改善方策等】

- ・留学生の応募自体がない為、特に準備はしていない。
- ・ニーズを把握し、需要が見込めればすぐに受け入れ態勢を整える事ができるよう準備をしておく。

【特記事項】

- ・なし

以上